スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県糸魚川市

自 治 体 名 ： 新潟県糸魚川市
担 当 課 名 ： 教育委員会事務局生涯学習課
電 話 番 号 ： 025-552-1511

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	746.24 ㎢
人口	37,560人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	815人
部活動数 （運動部活動のみ）	46部活
地域クラブ活動数	18クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済 （令和5年11月）
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済 （令和6年3月）

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

＜現状＞

令和4年度から地域連携体制づくりと段階的な休日の部活動の地域移行・地域展開の取組を開始し、令和6年3月には糸魚川市における目指す姿（基本方針）と推進計画を策定している。

当市においては、スポーツ協会傘下のジュニア団体が受皿となり地域展開が進められている。

令和8年度からは、原則、全中学校において、休日は部活動を実施せず、地域クラブへと活動が展開される。

平日については、当面、市内4中学校とも週3回の部活動が行われる予定となっているが、地域の受入体制が整った種目から地域展開を進めていく。

＜課題＞

地域クラブの組織的で持続可能な運営体制の構築と安定して安心・安全な指導体制づくりが必要となっている。

地域クラブ団体の組織化を検討するとともに、計画的な指導者の確保育成対策の取組を進める。

更に、地域展開が進むことにより、受益者の負担が増加したり、種目ごとの負担の差が生じることも懸念されている。

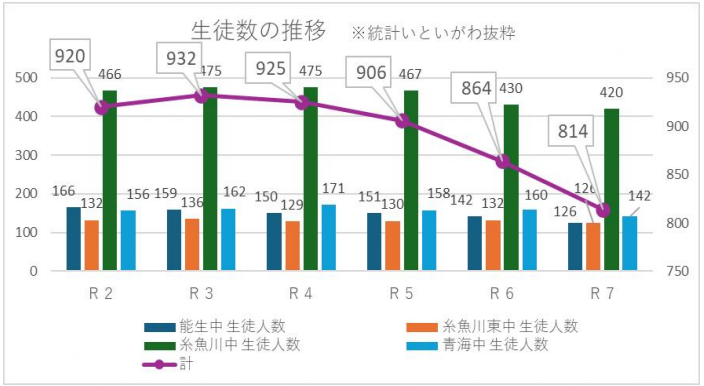
受益者負担を基本としつつ、経済的理由で地域クラブ活動が選択されないことにならないよう、支援策等を講じていく。

◆糸魚川市内の中学校部活動（運動部）

…4中学校14種目46部活動（内、特設5種目6部活動）

◆地域クラブ活動を開始した部活動

- 令和5年…5部活動（5クラブ）
- 令和6年➡ 14部活動（11クラブ）
- 令和7年➡ 26部活動（18クラブ）



○部活動の状況について（令和７年度）

種目／中学校	能生中学校		糸魚川東中学校		糸魚川中学校		青海中学校	
	男	女	男	女	男	女	男	女
陸上	○	○	○	○	○	○	○	○
水泳	○(特)				○(特)		○(特)	
バスケットボール	○		○	○	○	○	○	
サッカー					○			
軟式野球	○		○		○		○	
体操					○	○		
バレーボール	○	○			○	○		○
ソフトテニス					○	○		＊
卓球	○	○	○	○	○	○	○	○
バドミントン					○(特)※			
柔道					○(特)※			
剣道					○		○	
相撲	○(特)※							
スキー			○(特)		○(特)			
吹奏楽	○		○		○		○	

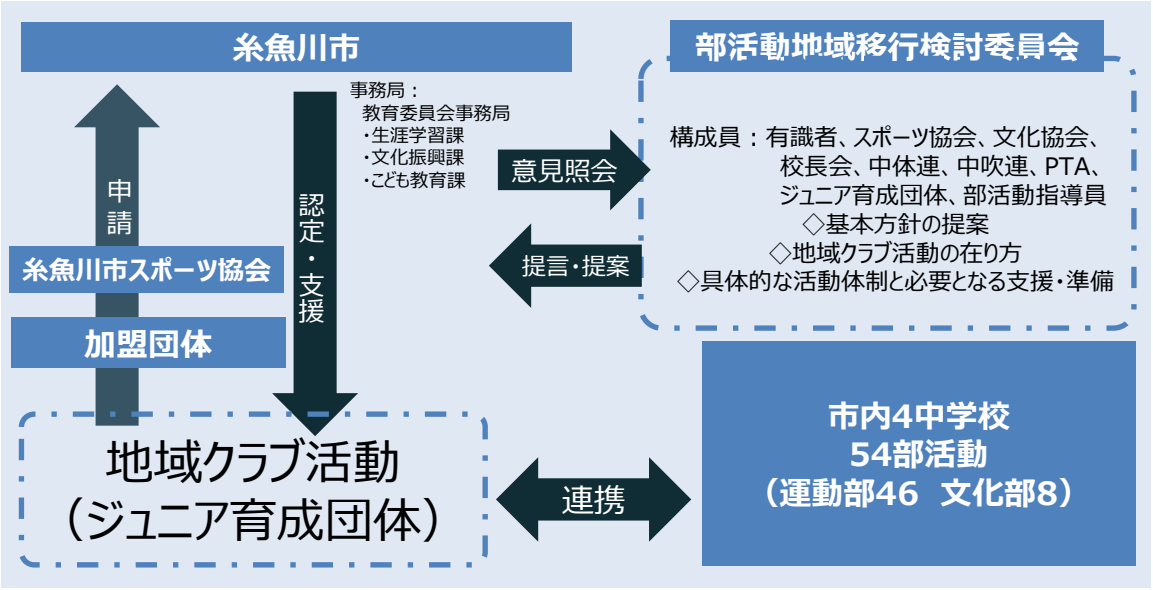
1．部活動あり…「○」　2．(特)…特設部活動　3．＊…平日・休日ともに完全移行
4．■（塗りつぶし）…　平日・休日の地域展開実施

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼移行期における地域クラブ活動推進体制図



▼行政組織内での役割分担

◉教育委員会（生涯学習課・文化振興課）

- 検討委員会企画運営
- 地域クラブ活動体制整備
- コーディネーター業務

・総括コーディネーター…関係団体との連絡調整
・地域コーディネーター…クラブと学校・行政との連絡調整
▪ ジュニア育成団体の支援と指導者の確保育成

◉教育委員会（こども教育課・中学校）

▪ 市内中学校の部活動方針と将来ビジョンの検討
▪ 地域クラブ活動との連携体制検討及び整備

▼スポーツ協会の役割分担

◉糸魚川市スポーツ協会

▪ 地域の指導者の確保育成
▪ 地域クラブ活動や部活動への指導者の紹介、派遣

年間の事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検　討 委員会								第1回	中学校との協議・課題検討			第2回
地域クラブ 活　動	地域クラブ活動の実施											
説明会 研修会				・指導者研修				・スポーツフェスティバル				地域クラブ活動広報
部活動と地域クラブ活動のマッチング	・地域クラブ活動募集 ・意向調査	部活動訪問・クラブ訪問										・地域クラブ活動実績報告 ・令和8年活動調整

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	18クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		13クラブ（22部活動）
全体の指導者数	90人	全体の運営スタッフ数	ー人

②各地域クラブ活動に関すること

令和7年度　地域スポーツクラブ活動リスト

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施曜日	時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者	会費	大会参加方法
糸魚川西部BC	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	140回	火 木 土（日）	18:30～21:00 18:00～21:00 8:30～12:00	54人	通年	糸中グラウンド （雨・冬：青海中体育館）	7人	24,000円/年	クラブで参加
糸魚川東部BC （エクスプレスクラブ・能生BC）	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	105回	火・木 土	19:00～21:00 9:00～12:00	30人	通年	能生球場 （雨・冬：能生中or東中体育館）	3人	2,500円/月	クラブで参加
糸魚川FC　U-15	ジュニアスポーツ団体	サッカー	140回	月・水 土・日	19:00～21:00 19:00～21:00 13:00～16:00	10人	通年	糸中グラウンド（月・水） 須沢臨海公園（土・日）	10人	6,000円/月	クラブで参加 （中体連大会は除く）
糸魚川市バスケットボール協会U-15委員会（男子）	競技団体	バスケ	140回	月・水・金 土	18:30～20:30 9:00～12:00	25人	通年	総合体育館（月） 糸中体育館（水） 青中体育館（金） 総体ほか（土）	3人	22,000円/年	クラブで参加 （中体連大会は除く）
糸魚川市バスケットボール協会U-15委員会（女子）	競技団体	バスケ	140回	月・水・金 土	18:30～20:30 9:00～12:00	23人	通年	総合体育館（月） 糸中体育館（水） 青中体育館（金） 総体ほか（土）	3人	22,000円/年	クラブで参加 （中体連大会は除く）
糸魚川VC （糸魚川ヤングバレーボールクラブ）	ジュニアスポーツ団体	バレーボール	140回	月・木 水 ・土（日）	19:00～21:00 17:30～19:30 8:30～11:30	18人	通年	糸中武道館（月・土） 亀が丘体育館（水・木・（日））	3人	12,000円/年 +2,000円/月	クラブで参加
奴奈川会	ジュニアスポーツ団体	バレーボール	140回	月・水・木・金 土	18:00~21:00 8:30~11:30	16人	通年	糸魚川中武道館（月・土） 田沢体育館（水） 亀が丘体育館（木） 田沢体育館（金）	2人	3,000円/年 （保険・登録料） +1,000円/月会費	クラブで参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（つづき）

令和7年度　地域スポーツクラブ活動リスト

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施曜日	時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者	会費	大会参加方法
能生ジュニアバレーボールクラブ（男子）	ジュニアスポーツ団体	バレーボール	105回	火･金･日	18:30~20:30 8:00~12:00	14人	通年	能生中体育館	2人	1,000円/年	クラブで参加
能生ジュニアバレーボールクラブ（女子）	ジュニアスポーツ団体	バレーボール	105回	火･木･日	18:30～20:30 8:00～12:00	6人	通年	能生中体育館	2人	1,000円/年	クラブで参加
ラブオールITOIGAWA	ジュニアスポーツ団体	バドミントン	140回	月 木･金 土	18:00~20:30 19:00~21:00 16:00~19:00	12人	通年	亀が丘体育館（月） 総合体育館（木･金） 糸魚川東小体育館（土）	3人	2,000円/月	クラブで参加
糸魚川フロンティアクラブ（ソフトテニス）	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	105回	木･土 日	18:00～21:00 13:00~16:00	9人	通年	美山テニスコート	4人	12,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川Unity（青海ジュニアソフトテニスクラブ）	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	140回	火･水･金 土	16:00~18:00 9:00~12:00	11人	通年	青海中テニスコート 名引山テニスコート （雨天：青海生涯学習センター）	4人	2,000円/年	クラブで参加
青海体操クラブ	ジュニアスポーツ団体	体操競技	140回	月･木 水 日	16:30~18:30 17:00~21:30 13:30~16:30	6人	通年	青海生涯学習センター体育室	5人	バンビ～2,000円/月 ジュニア～4,000円/月	クラブで参加
能生相撲教室	ジュニアスポーツ団体	相撲	105回	木 土･日	18:30~20:00 9:00~12:00	3人	通年	海洋高校相撲場	4人	2,000円程度（随時）	クラブで参加
糸魚川市少年柔道教室	ジュニアスポーツ団体	柔道（男）	70回	月･水	19:00~21:00	4人	通年	白嶺高校_柔剣道場	10人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会含む）
青海剣道クラブ	ジュニアスポーツ団体	剣道	70回	月･木	19:00~20:30	16人	通年	青海中講堂	10人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会は除く）
糸魚川空手道クラブ	ジュニアスポーツ団体	空手	105回	木･日 土	19:00～21:30 9:30~11:30	10人	通年	田沢体育館（木） 白嶺高校柔剣道場（土） 亀が丘体育館（日）	9人	2,000円/月	クラブで参加
糸魚川葵剣士会	ジュニアスポーツ団体	剣道	105回	火･金 土	19:00~20:00 8:30~11:30	10人	通年	ひすいの里総合学校（火･金） 糸魚川中学校体育館（土）	6人	1,000円/保護者会費（年） +1,000円/月	クラブで参加 （中体連大会は除く）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績③

③その他、体験会やイベント等の開催実績

◆スポーツフェスティバルの開催
スポーツ協会、スポーツ協会加盟団体と協力し、多世代対象にスポーツ体験イベントを開催
日時：10月26日（日）
会場：糸魚川市民総合体育館









◆『地域クラブ紹介』
地域クラブ紹介を作成
市内小中学生に配布

中学生を対象とした地域クラブ（ジュニアスポーツ育成団体）　一覧

地域	種　目	クラブ名	活動場所
能生地域	バレーボール	能生ジュニアバレーボールクラブ（男子）	能生中体育館
		能生ジュニアバレーボールクラブ（女子）	能生中学校アリーナ
糸魚川地域	軟式野球	糸魚川エクスプレスクラブ	糸魚川東中グラウンド or 能生球場
		美山ベースボールクラブ	糸魚川中グラウンド
	バレーボール	糸魚川ヤングバレーボールクラブ（男子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館
		奴奈川会（女子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館
	ソフトテニス	糸魚川フロンティアクラブ	美山テニスコート ※雨天及び冬期間は糸中体育館
青海地域	軟式野球	青海ベースボールクラブ	青海総合グラウンド 青海中グラウンド
	ソフトテニス	青海ジュニアソフトテニスクラブ	青海中学校テニスコート 名引山テニスコート
	剣道	青海剣道クラブ	青海中講堂
市内全域対象	バスケ	糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）（男子）	市民総合体育館 糸魚川中体育館
		糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）（女子）	市民総合体育館 糸魚川中体育館
	サッカー	糸魚川ＦＣ Ｕ-15	糸魚川中グラウンド 須沢臨海公園 ※12月～3月は青海中体育館または能生体育館
	バドミントン	糸魚川ＪＢＣ（ラブオールITOIGAWA）	市民総合体育館 亀が丘体育館 糸魚川東小体育館
	体操競技	青海体操クラブ	青海生涯学習センター体育室
	相撲競技	能生相撲教室	海洋高校相撲場
	柔　道	糸魚川少年柔道教室	糸魚川白嶺高校柔剣道場

2.実証内容と成果

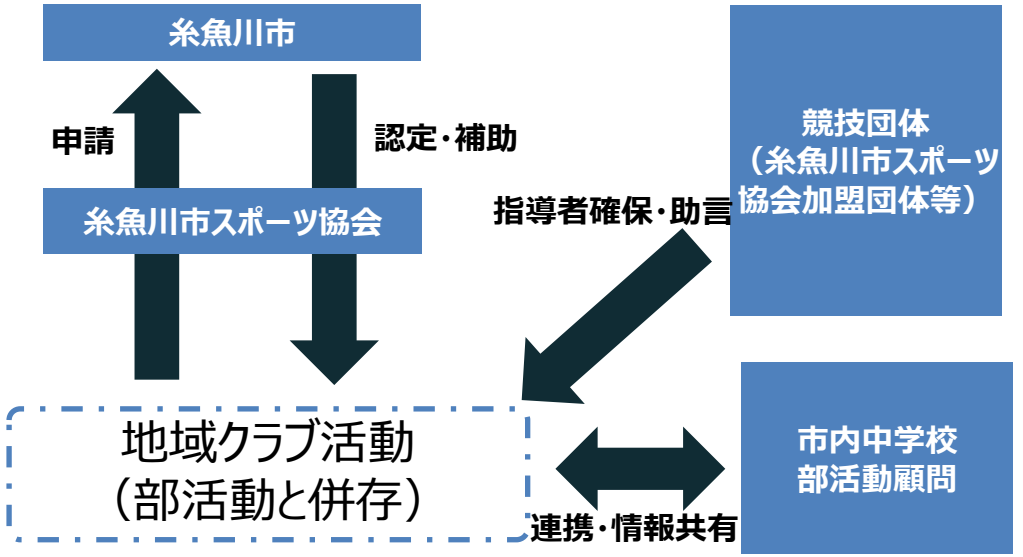
スポーツ庁

主な取組例

●糸魚川市地域クラブ　活動概要①（部活動と併存）

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、体操、剣道
運営団体名	糸魚川西部BC、糸魚川東部BC、糸魚川FC U-15、糸魚川市バスケットボール協会U15委員会、糸魚川VC、奴奈川会、能生ジュニアバレーボールクラブ、糸魚川フロンティアクラブ、青海体操クラブ、青海剣道クラブ、糸魚川葵剣士会
期間と日数	3～4回／週 年間105～140回程度
指導者の主な属性	地域の指導者、教員（兼職兼業）、保護者指導者
活動場所	市内体育施設、学校開放施設
主な移動手段	通学手段（徒歩、自転車、スクールバス）と同じもしくは保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	24,000円～60,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

＜地域クラブの運営体制＞

●代　表　者：競技団体代表者または保護者から選出（クラブ運営統括・管理）

●役員・会計：競技団体事務局または保護者から選出（会計管理・活動調整）

●指　導　者：地域の指導者、教員、保護者
（生徒指導・コーチング、大会・遠征引率）

●そ　の　他　：部活動顧問（学校との連絡調整、部活動との活動調整）

2.実証内容と成果

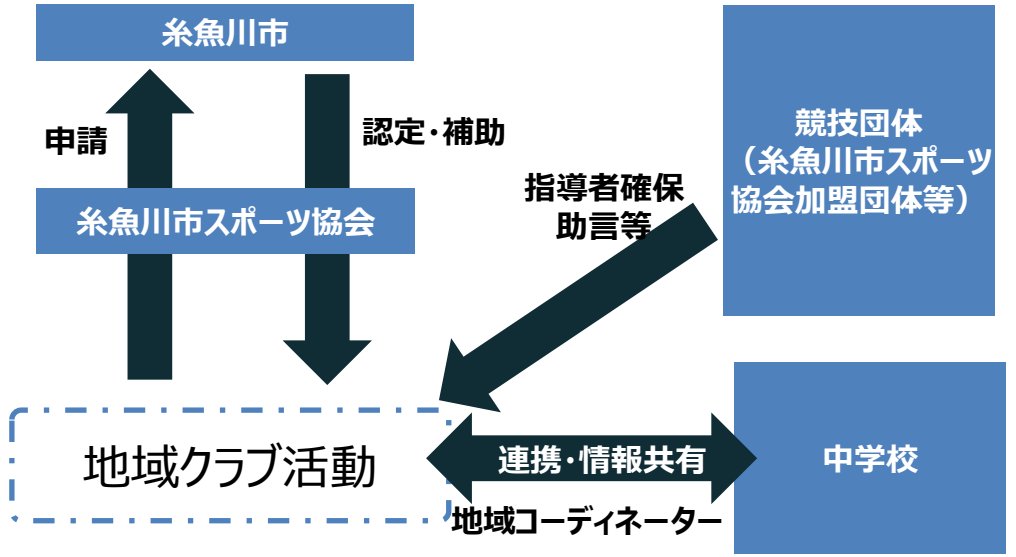
スポーツ庁

主な取組例

●糸魚川市地域クラブ　活動概要②（部活動がない種目）

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、ソフトテニス、相撲、柔道、空手
運営団体名	ラブ・オールITOIGAWA、糸魚川Unity、能生相撲教室、糸魚川市少年柔道教室、糸魚川空手道クラブ
期間と日数	3～4回/週 年間105～140回程度
指導者の主な属性	地域の指導者、教員（兼職兼業）、保護者指導者
活動場所	市内体育施設、学校開放施設
主な移動手段	通学手段（徒歩、自転車、スクールバス）と同じもしくは保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	24,000円～60,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

＜地域クラブの運営体制＞

●代　表　者：競技団体代表者または保護者から選出（クラブ運営統括・管理）

●役員・会計：競技団体事務局または保護者から選出（会計管理・活動調整）

●指　導　者：地域の指導者、教員、保護者
（生徒指導・コーチング、大会・遠征引率）

●コーディネーター：地域コーディネーター（教委）（学校との連絡調整、情報共有）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

◆ 総括コーディネーターの配置
- 地域展開の全体的な企画・提案
- 学校、教育委員会、行政及び関係団体との連絡調整

◆ 地域コーディネーターの配置

地域クラブと関係する学校・部活動との連携強化を図るため、連絡調整を行う。円滑なクラブ活動のため、活動場所の利用調整等を行う。

取組の成果

◆地域クラブ活動の増加

10種目18クラブ（4種目4クラブの増）

◆スポーツ協会加盟団体（競技団体）による地域ぐるみの中学生の活動受入れ

（市卓球連盟　※連盟が取りまとめ、参加団体等が協力した形で市内中学生の受入体制づくりが進められた。令和8年～実施予定）

◆地域クラブを対象とした休日日中の学校施設の開放ルール整理

◆新たな地域クラブづくり

（陸上競技、軟式野球、空手、チアリーディング等）

今後の取組における課題

地域クラブ活動実施種目の増加が見られ、活動が充実してきているものの、地域クラブへの参加率は令和8年度以降も50%程度と見込まれる。

なるべく多くの生徒に、平等に活動機会が提供できるよう、クラブ活動に参加しない生徒の志向や日常生活等の実態把握が必要となっている。

既存のジュニア団体の活動を基礎に地域クラブ活動が進められていることから、保護者送迎が主な移動手段となっている。

現在は活動拠点も分散化しており、効率的に平等な支援を講ずることも難しい状況となっている。

活動の拠点化や集約化な度を進めていく必要がある。

課題への対応方針

◆部活動と社会教育団体との連携調整に引き続き取組む。

◆ニーズの把握と受皿体制づくりに取組む。

◆部活動・地域クラブ活動の詳細活動実態の把握を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

◆部活動指導員配置事業の活用
◆地域クラブ活動への地域の指導者の配置
◆指導者資格取得への支援（市単独補助事業）
◆部活動指導員、ジュニア指導者研修会の開催

取組の成果

◆部活動指導員配置　➡ 29部活動・43人
◆地域クラブ活動への指導者の配置　➡ 18クラブ・90人
◆指導者資格取得補助　➡ 公認コーチ資格等　取得16人（卓球、バスケット　ほか）
◆研修会の開催　➡ 参加23人

指導者研修会　開催
日　時：令和7年7月13日（日）　9時10分～15時30分
内　容：救命講習、熱中症予防とコンディショニング、インティグリティ研修
講　師：上越教育大学　准教授　池川　茂樹

今後の取組における課題

◆指導者の組織的な確保育成体制（人材バンク）が未整備で段階的な人材育成や安定した指導者の確保・育成体制づくりが課題
◆地域クラブ活動の必要要件として指導者の研修参加を定めている。
　地域クラブで求める指導者スキル、コンプライアンス等の普及啓発は継続的に進めていく必要がある。

課題への対応方針

生徒・保護者が安心して安全に参加できる地域クラブ活動づくりを進めるため、指導者の資質向上に向け、引き続き指導者必修研修を開催する。
指導者保護の観点からも地域クラブで求める指導者スキルやインティグリティ関連情報の普及啓発を進め、安定的な地域クラブの指導・運営体制づくりに取組む。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修の内容

指導者研修会　開催

日　時：令和7年7月13日（日）9:10～15:30

内　容：

①救命手当とAEDを学ぶ　〔糸魚川市消防本部〕

②講習熱中症予防とコンディショニング〔上教大　池川准教授〕

～暑さに強い身体づくり～

③鍛錬で“緊張”は乗り越えられるのか？

～“緊張”反応から指導者の役割を考える～

④インティグリティ研修　〔総括コーディネーター〕

講　師：上越教育大学　准教授　池川　茂樹

参加者：23人

（地域クラブ、ジュニアスポーツ育成団体、部活動指導員）

指導者研修受講者の声

参加者①

- 熱中症予防とコンディショニングについて、参考となった。
- よく聞く水分補給等による対策に追加して、効果的な対策や暑さに強い身体づくりについての話がとても良かった。

参加者②

- 基本的な知識として救急救命講習は必須
- コーチ資格の更新要件にもなっているので定期的に開催して欲しい。

参加者③

- 地域クラブの活動状況等と比べると参加者が少ない。
- 研修内容等を検討し、より多くの指導者が参加する研修会としてほしい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

◆指導者資格取得補助

➡ 公認コーチ資格等　取得16人　（卓球、バスケット、軟式野球、空手、ソフトテニスほか）

地域クラブ活動 指導者総数（令和7年度）	90人
資格取得指導者 （補助対象者）	令和6年　10人 令和7年　16人

平日・休日の一貫指導に関する取組

◆ 地域クラブ活動団体による、平日・休日一体的な中学生の受入れの推進。

●通年活動を行っているジュニアスポーツ育成団体が平日・休日とも中学生を受入れた活動に取組んでいる。

●平日・休日を分け隔てなく、一体的に受け入れることにより、指導体制、指導方針の一貫性を保持している。

◆ 種目別ミーティングミーティングの実施

●部活動顧問と地域クラブ指導者が集まり、生徒・会員の活動について情報共有を進めている。

●コーディネーターを通じた連絡調整等により、学校とも連携した運営・指導体制づくりに取組んでいる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

◆部活動地域移行検討委員会の開催
◆中学校校長会との情報共有会議の開催
◆生徒・児童の意向調査
◆スポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体との種目別ミーティング

取組の成果

◆検討委員会の開催
➡令和8年度からの休日の地域展開の取組体制や改革実行期間に向けた課題の整理と検討が進められた。

◆中学校校長会との情報共有会議
➡令和8年度以降の部活動の実施方針について方針が決定した。（休日は原則的に部活動を実施しない。）

◆生徒・児童の意向調査
➡ニーズの把握、部活動・地域クラブ活動に参加しない生徒・児童のニーズ等把握が図られた。

◆ 種目別ミーティング
➡軟式野球、卓球、ソフトテニス、空手等で地域クラブ活動の取組の広がりが見られた。

今後の取組における課題

◆既存の部活動種目に加え、部活動にない種目においても地域クラブの取組が進められたが、地域クラブ実施団体の個々の運営体制が活動のベースとなっており、クラブごとで参加者の負担、指導者の処遇、持続的な運営体制等にばらつきが見られる。

◆地域クラブの横連携を促進する協力体制、組織化等について、今後検討が必要となっている。

課題への対応方針

◆地域クラブの活動体制・運営体制の横連携
●地域クラブ活動団体の運営状況の把握
●連絡協議会等の設置検討

◆地域クラブ活動の組織的運営体制の検討
●受皿組織の検討・発掘
●会費の管理、労務管理、税務処理等の検討

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

地域公共交通との連携に関する取組

◆ 平日・休日の地域クラブに参加する生徒の交通手段の確保

- スクールバスの利用
- バス路線のダイヤの維持と拡充（交通機関への申入れ）
- 保護者への理解促進（保護者送迎等の必要性）

➡令和8年度から平日の部活動終了時刻の繰り上げと休日の部活動が原則的に行われなくなることを受け、現状のスクールバス、路線バスの時間調整とダイヤの維持について交通機関に要望を行った。

今後の取組における課題

◆ 地域展開が進んだことにより、活動場所や活動時間の分散化が見られ、効率的な交通対策が難しい状況となっている。

➡段階的に拠点化や活動の種目ごとの集約化に取組、公共交通機関等と連携した移動支援を進めたい。

◆ 平日の地域クラブ活動の拠点化と鉄道・バス路線を活用した移動支援について検討が必要となっている。

◆ 大会参加や遠征等に必要となる移動手段の確保と費用負担の在り方について、検討が必要となっている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

◆学校単位での部活動の維持が困難となってきていることを踏まえ、スポーツ協会及び文化協会を通じた種目ごとの学校区・市域を越えた合同活動体制等の実施促進

◆スポーツ協会・競技団体の組織的なバックアップ体制による広域的な指導者の確保

取組の成果

◆学校区・市域を越えた合同活動
・定期的な合同練習を競技団体が協力して実施
➡〔　陸上競技、剣道　〕
・県内他市の相撲クラブと定期的な合同稽古を実施（稽古場所の確保・拠点化）
➡〔　相撲　〕

◆広域的な指導者の確保
➡スポーツ協会加盟団体35団体の協力体制

今後の課題と対応方針

◆生徒数の減少から、学校単位で部活動（地域クラブ活動）を継続していくことが困難となりつつある。また、地域クラブの担い手となるジュニアスポーツ育成団体でも会員の減少により活動の集約化等が進んでいる。スポーツ協会等が連携し、学校と地域が一体となって中学生の活動機会を支えていく必要がある。

◆地域クラブの指導者や部活動指導員の確保に際し、関係団体の組織的なバックアップが得られている。継続的で安定した地域の支援体制づくりのため、スポーツ協会と連携した支援体制づくりを進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

◆部活動種目の地域連携体制の強化
◆指導者研修の開催
◆指導者資格取得への支援

取組の成果

◆部活動種目の地域連携体制の強化
➡部活動とスポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体との連携を促し、平日も含め、地域クラブ活動の機会が増加した（地域の協力・専門指導者の指導・教員の負担軽減）。
◆指導者研修の開催
➡指導者研修を開催し、質の高い地域クラブ活動の提供ができる指導体制の基礎づくりを進めた。
また、研修機会を通じ、指導者間の種目を超えた横のつながりも見られる。
◆指導者資格取得への支援
➡有資格指導者の増加
・令和5年度8人
・令和6年度10人

今後の課題と対応方針

◆地域クラブ活動の指導者に求められる資質や資格については、情報収集と考え方の整理を進めている。
当市には15種目の部活動種目に対し、スポーツ協会加盟団体は35団体、ジュニアスポーツ育成団体は51団体ある。
地域人材等資源を活かし、地域の社会教育団体の協力を得ながら、充実した指導体制づくりを進める。
◆部活動種目以外の地域クラブ活動が徐々に始まっている。
更なるニーズの掘り起こしを進め、体験事業等を通じてメニューの充実化を進めていく。
◆多志向（競技志向・楽しみ志向　等）にも対応した活動環境の整備を進める必要がある。
当市の地域クラブ活動団体は競技団体の傘下団体が中心となっている。レクリエーション的志向の生徒の活動機会づくりも進める必要がある。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

◆地域クラブ活動運営費の支援
（市独自事業）
◆糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用
◆施設使用料等減免措置
◆中体連主催大会等への参加費用支援

地域クラブに係る経費

■運営経費の分析

当市の地域クラブ活動は、スポーツ協会傘下のジュニアスポーツ育成団体の活動がベースとなっており、これまでは、競技団体所属の指導者がボランティアで指導にあたり、一部補助金を利用しながら、運営費・活動費は、概ね受益者負担により運営が進められていたもの。

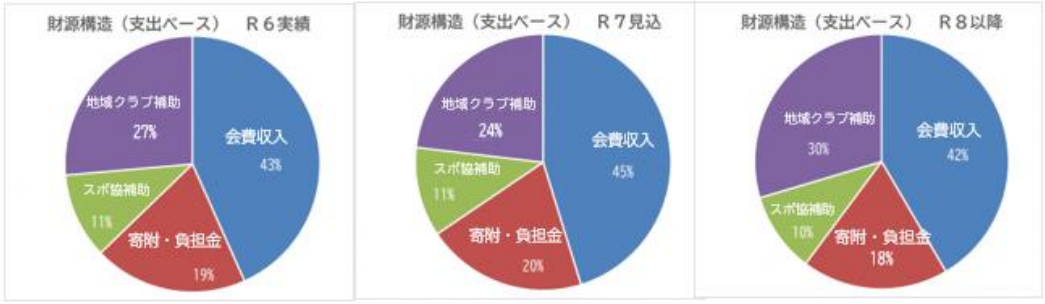
今後は指導者配置にかかる経費の負担が必要となるため、競技団体、保護者、市で調整と検討が必要。

・これまで…ジュニアスポーツ育成団体活動＝ボランティア活動スタイル➡[全て受益者負担]

・これから…地域クラブ活動＝適正な指導者配置経費を支弁➡[新たな経費の負担を調整]

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

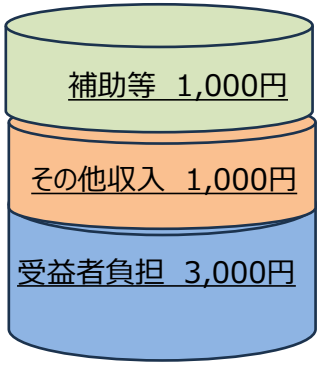
◎　糸魚川市地域クラブ活動における費用負担の状況



～糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金実績報告資料より～

◎　受益者負担のイメージ　※1か月当たりの経費負担のイメージ

約5,000円/月
※指導者経費の
増加に対応



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

◆地域クラブ活動の学校施設利用
- 放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
- 地域クラブ活動への学校開放に必要となる環境整備

取組の成果

◆地域クラブ活動の学校施設利用

●放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
➡部活動顧問と受皿となった地域クラブ活動指導者の協議により、空いた部活動時間の学校施設利用が進められた。

●地域クラブ活動への学校開放に必要となる環境整備
➡体育施設の定期利用調整会議で調整。学校開放施設の安定的な利用が確保された。

●その他
➡学校備品の活用について申合せ

今後の課題と対応方針

新たに地域クラブ活動を行う場合の活動場所の確保が大きな課題となっている。
学校部活動が使用していた時間帯の学校施設を地域クラブが活動できるよう、利用調整の仕組みづくりが必要となっている。

学校開放における施設・備品の地域クラブ活動での利用は、徐々に学校との調整が図られてきている。
今後は部活動が縮小してきたときの学校施設、学校備品の更新・整備について、役割分担を整理しておく必要がある。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

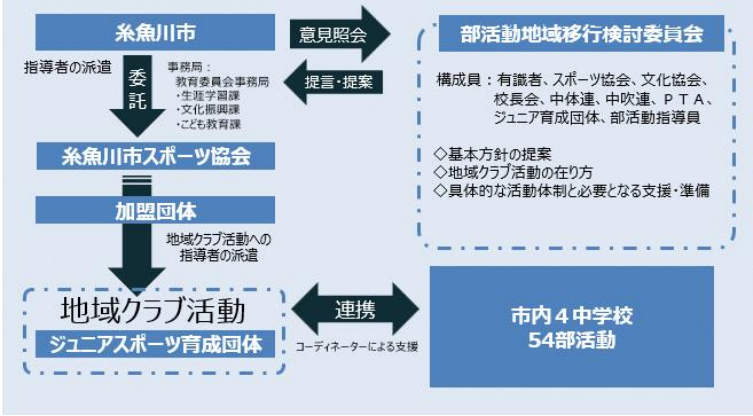
●総括

糸魚川市では、糸魚川市スポーツ協会加盟団体傘下のジュニアスポーツ育成団体が主な地域クラブ活動の受け皿団体となっており、令和7年度時点で18クラブが活動を開始している。

地域クラブは全て、受益者負担により運営されており、指導は競技団体所属の指導者がボランティアで行っている。

一定の休日の地域クラブ活動体制が整ったことから、令和8年度から市内中学校においては休日の部活動は行わないこととなり、休日の地域展開がほぼ完了する。

今後は、持続可能な運営体制の構築を目指し、地域クラブ（実施団体）が連携した地域クラブの運営組織体制の整備について検討を進める必要があると考える。



●成果の評価

◆地域クラブ　18クラブについて

●既存のジュニアスポーツ育成団体が中学生・部活動を受け入れ

●競技団体主催・競技志向色が強めの活動

●学校部活動との活動調整、役割分担がまだまだ不足

➡コーディネーターが活動に積極的に関与し、部活動顧問・学校と地域クラブの連絡調整の充実化を進めていく。

◆地域クラブの運営体制について

●20年続く糸魚川市のジュニアスポーツ育成団体の活動が基礎となっており安定感はある。

●指導者経費の捻出、運営費の平準化のため、地域クラブをまとめて運営する組織体制づくりについて検討を進める必要がある。

●今後に向けて

部活動種目全ての受皿は用意されたが、多様な生徒のニーズへに対応するため、更なるニーズの把握と望まれる活動機会の整備に努めていく。

また、安心・安全で安定した地域クラブづくりのため、安全管理体制、指導者の確保・育成、規範の整備等を進める必要がある。

学校、指導主事、いじめ対策基本方針等と協調・連携し、管理体制の充実化を図りたい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料









【スポーツフェスティバルの実施】

中学生を対象とした地域クラブ（ジュニアスポーツ育成団体）　一覧

地域	種　目	クラブ名	活動場所
能生地域	バレーボール	能生ジュニアバレーボールクラブ（男子）	能生中体育館
		能生ジュニアバレーボールクラブ（女子）	能生中学校アリーナ
糸魚川地域	軟式野球	糸魚川エクスプレスクラブ	糸魚川東中グラウンド or 能生球場
		美山ベースボールクラブ	糸魚川中グラウンド
	バレーボール	糸魚川ヤングバレーボールクラブ（男子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館
		奴奈川会（女子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館
	ソフトテニス	糸魚川フロンティアクラブ	美山テニスコート ※雨天及び冬期間は糸中体育館
青海地域	軟式野球	青海ベースボールクラブ	青海総合グラウンド 青海中グラウンド
	ソフトテニス	青海ジュニアソフトテニスクラブ	青海中学校テニスコート 名引山テニスコート
	剣道	青海剣道クラブ	青海中講堂
市内全域対象	バスケ	糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）（男子）	市民総合体育館 糸魚川中体育館
		糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）（女子）	市民総合体育館 糸魚川中体育館
	サッカー	糸魚川FC U-15	糸魚川中グラウンド 須沢臨海公園 ※12月～3月は青海中体育館または能生体育館
	バドミントン	糸魚川JBC（ラブオールITOIGAWA）	市民総合体育館 亀が丘体育館 糸魚川東小体育館
	体操競技	青海体操クラブ	青海生涯学習センター体育室
	相撲競技	能生相撲教室	海洋高校相撲場
	柔　道	糸魚川少年柔道教室	糸魚川白嶺高校柔剣道場

【地域クラブ紹介】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年
- 準備会議
- 部活動指導員制度の取組

▶

令和5年
- 検討委員会
- 受け皿団体の発掘・調整

▶
- 目指す姿の策定
- 種目別ミーティングの開催

▶

令和6年・7年
- 検討員会
- スポーツ協会を通じた地域クラブの募集（18クラブ）

▶

令和8年～
- 休日の地域展開実行
- 平日の地域展開検討

▶
- 地域クラブの組織化
- 平日の地域クラブ活動の充実

●ステークホルダー
- 学校、中体連事務局、生徒、保護者
- スポーツ協会、競技団体、部活動指導員
- 市、教育委員会、コーディネーター
- 有識者（アドバイザー）

●経過

令和4年度に部活動指導員制度の活用により、指導者の確保と地域連携活動を開始した。

その後、部活動改革の考えが示されてきたことにより、糸魚川市における部活動の地域移行の方針と目指すべき姿の検討を行い、令和6年3月に目指す姿（基本方針）を策定した。

そこでは、先ずは休日から学校で維持が困難となってきている部活動を地域が連携して支えることで、中学生の活動機会の維持・発展を目指すこととされている。

そのため、教育委員会では、既存の地域のジュニアスポーツ育成団体に要請し、部活動との連携、中学生の受け入れについて調整を進め、令和7年度末時点で18団体による地域クラブ活動が開始されている。

●実施にあたって生じた課題

糸魚川市スポーツ協会のジュニアスポーツ育成団体活動支援事業は平成18年から続く取組で、市内のジュニアスポーツ育成団体の活動は活発で、指導体制も充実している。

運営・活動体制は、会員の会費で賄う自主自立した体制であるが、指導体制は、競技団体所属の指導者が無償で担ってきている。

今後、ジュニアスポーツ育成団体の地域クラブ化を進めていくにあたっては、指導者の継続的な確保のためにも指導者処遇を見直していく必要がある。

指導者謝金の在り方と受益者負担について、協議と調整が必要になっている。また、指導者の処遇、規範、安全管理体制等、検討と整備が必要となっている。安心・安全で安定的な地域クラブづくりを進めなければならない。

●実施内容、工夫した点 等

・部活動と保護者、競技団体によるマッチング（活動調整）

・小中学校への地域クラブの紹介

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

国の取組

	令和５年度～７年度	令和８年度～10年度	令和11年度～13年度
改革期間	「改革推進期間」	「改革実行期間」（前期）【中間評価】	「改革実行期間」（後期）
取組方針			

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
※現時点で着手していない地方公共団体においても、**前期の間に確実に休日の地域展開等に着手**
（中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

※学校部活動をベースとした地域との連携など、**地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要**

※スポーツ庁・文化庁　新たなガイドラインの骨子（案）のポイント　抜粋

市の取組

≪区　分≫	令和５年度～７年度	令和８年度～10 年度	令和 11 年度～13 年度
目　標	・準備期間、試行 ・段階的な地域移行	・休日の部活動の地域移行・地域展開 ・地域クラブ運営体制の検討	・更なる地域展開の推進 ・地域クラブ運営体制の整備
≪学　校≫	・移行に向けた調整 ・保護者への説明	平日の部活動の継続（一部種目は地域へ） ・休日の部活動は原則なし ※一部種目の中体連大会の廃止、中体連大会の見直し	・平日の部活動の地域連携、地域展開
≪地　域≫ ・運営体制	【教育委員会】 ・地域クラブ認定制度 ・地域クラブ補助制度	【教育委員会➡運営組織へ】 ・地域クラブ指導者登録制度の検討 ・各種支援制度整備（就学支援 移動支援 活動調整）	【運営組織】 ・地域クラブ指導者登録制度の運用 ・平日も含めた活動支援の継続
・実施団体	【社会教育団体】 ・R6　17 クラブ ・R7　20 クラブ（見込）	【社会教育団体】 ・20 クラブ程度 ・部活動種目以外の選択肢の掘起こし ・更なる連携と拠点化の検討	【社会教育団体】 ・20 クラブ程度＋新たなメニュー ・人材確保と育成 ・更なる連携と拠点化の検討